

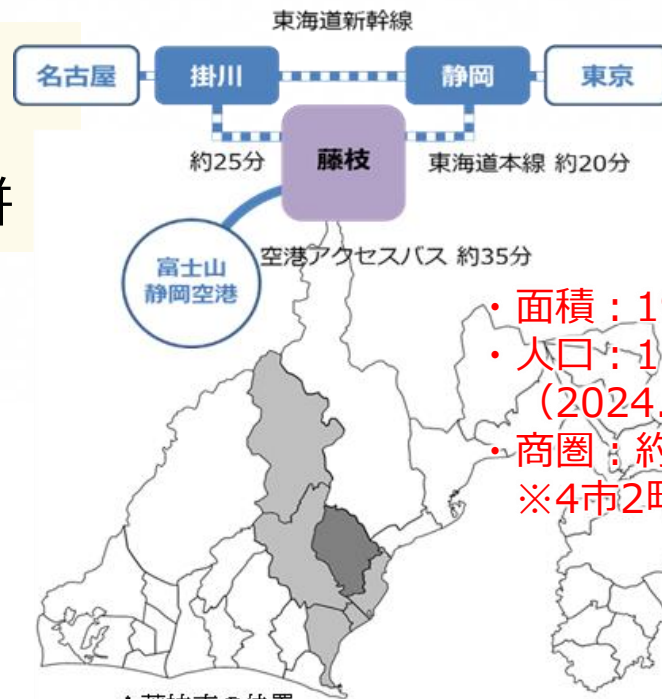
藤枝市のまちづくり戦略



藤枝市
Fujieda City

藤枝市の紹介

- 静岡県のほぼ中央
- 静岡市に隣接
- 平成21年1月に岡部町と合併



- 面積：194.06 km²
- 人口：137,572人
(2024.5.1現在)
- 商圏：約450,000人
※4市2町(グレー部分)

▲藤枝市の位置



ミッション

“○○○○”になるまち

ミッション

“幸せ”になるまち

市民が「健康」で「安心」して暮らし、
将来に「希望」の持てるまち。

今、何が起きているのか..

人口減少・少子高齢社会に本格的に突入

- ・ 右肩上がりの転入増も減少に転じ人口減少が加速
2023年度 ▲1,492人
 - <社会動態> 転入 - 転出 = ▲ 437人
 - <自然動態> 出生 - 死亡 = ▲1,055人
- ・ 市街地開発により地価が上昇。子育てが世代が近隣市に流出

今、何が起きているのか..

人口減少、少子高齢社会が進むと・・・

○社会構造が崩壊！

経済が縮小、担い手が減少、税収が減少、弱者が増加

コロナが追い討ち・・・

○社会環境が一変！

社会崩壊の前倒し、コミュニティ減少、デジタル化の加速

さらなるリスク・・・

国際紛争、物価高騰、自然災害、地域格差・・・

今、何が必要か？

- ・ “**地方政府**”としての自覚と決断、行動
- ・ “**ダウンサイジング**”への転換
- ・ “**選択と集中**”による投資
- ・ “**付加価値**”の創造
- ・ “**原点**”への回帰

意識改革

藤枝から国を変える

先駆的にチャレンジし、自らが“モデル”に！

変革に必要な「壁」は自ら切り拓く

- ・ 地方再生コンパクトシティモデル都市指定（内閣府）
- ・ コンパクト＋ネットワークモデル都市指定（国土交通省）
- ・ スマートシティモデル都市指定（デジタル庁）
- ・ 地方分権改革提案制度で2度閣議決定、全国展開（政府）

戦略的アライアンス

産学官連携で変革を起こし“付加価値”向上へ



都市戦略

10年、20年先を見据えた都市経営

3つのイノベーション

① **4 Kの深化・革新**

② **コンパクト＋ネットワーク**

③ **スマートシティ**

都市戦略

① 4 K 安全・安心な暮らしと付加価値の向上

健康 Kenkou

- ・データヘルスによる行動変容
- ・高度医療＋地域福祉の連動

教育 Kyouiku

- ・グローバル、デジタル人材育成
- ・高度地域人材の育成

環境 Kankyou

- ・ゼロカーボンシティの形成
- ・エネルギー地産地消の構築

危機管理 Kikikanri

- ・A I 監視システムの構築
- ・ドローン、災害支援車の導入

新たな成長戦略

活用できる
「2つの強み」



特徴的な“食と農”
県内屈指の有機農業の生産
茶をはじめ多種多様な農産物の生産

世界の食料品市場 (2030年)
約**1,360兆円**に拡大
(2015年の**1.5倍**)



先進的な“健康・医療”
先進的な健康予防施策
高度医療提供と製薬関連産業の集積

世界のヘルスケア市場 (2030年)
約**525兆円**に拡大
(2013年の**3.2倍**)



静岡県の成長戦略

ファルマバレー構想
(医療健康産業集積)



フーズヘルスケアイノベーション
(ヘルスケアビジネスの創出)



連携

— “食と農×健康・医療”のイノベーション — 藤枝HALEバレー構想 (晴れ 晴れ)

- ・ **HALE**という英単語は「健康で元気がある」という意味
- ・ **H**ealth(健康)、**A**griculture(農業)、**L**ifecare(医療)、**E**at(食)の頭文字
- ・ 市民が希望を持ち安心して健康に暮らし、心身ともに「晴れ晴れ」するまちを創る



「2つの強み」を結び付け 新たな産業・市場を開拓

- ・ 新たな研究開発や製造、サービス拠点の立地推進
- ・ 関連する高付加価値企業の立地誘導
- ・ 市内企業との連動による産業クラスターの形成

拠点づくり

- ・ 水上スマートシティ (中枢拠点)
- ・ 食と農のアンテナエリア



人材づくり

- ・ 専門大学設置構想
(公立大学法人)



新たな成長戦略

Smart City

Fujieda_Mizukami

HALEバレー 中枢拠点



自分の業務から考えるまちづくり



全県庁業務		県庁業務シート		令和5年度の数値	
100	防災訓練に参加した市民の割合	30.3%	30.2%	24.0%	79.5%
101	災害時情報配信システムの登録人数	12,000人	11,000人	16,908人	153.7%
102	マイ・タイムライン登録会に参加した住民のマイ・タイムライン作成率	100%	100%	69.2%	69.2%
103	水防・雨量観測システム閲覧件数【2019年度から累計】	10,000件	8,400件	31,822件	378.9%
104	防災訓練を有する病院における避難訓練計画の作成率	100.0%	100.0%	88.6%	88.6%
105	消防団員充足率	100%	100%	97.8%	97.8%
106	県用河川整備員【1979年度から累計】	46,915名	46,706名	46,606名	99.7%
107	感染症による二重感染以上感染症のクラスター発生件数	0件	0件	0件	100.0%

第6次総合計画中期計画 成果指標管理シート						
No.	成果指標	最終目標値 (計画終了時)	目標値 (2023)	実績値 (2023)	達成度	今後に向けた方針、改善点
1	防災訓練に参加した市民の割合	30.3%	30.2%	24.0%	79.5%	コロナが感染症上での緊急事態に移行したが、総合防災訓練の再開も実施したため、参加者が想定を下回った。令和5年度は地域別の取組を実施するため、緊急事態下という用語の制限を撤廃し訓練項目に追加するなど、興味により関心が高まる内容を取り入れ、防災力と参加率の向上を図る。
2	災害時情報配信システムの登録人数	12,000人	11,000人	16,908人	153.7%	自治体の防災アプリ「藤枝市防災」の導入により、登録者数は大幅的に増加したが、今後もより多くの市民に活用いただけるよう、市民への働きかけの活用を促すなど、研修会や協議、広報誌等あらゆる機会で開催を行う。
3	マイ・タイムライン登録会に参加した住民のマイ・タイムライン作成率	100%	100%	69.2%	69.2%	マイ・タイムラインワークショップ開催によるマイ・タイムラインの作成率から、登録者でマイ・タイムラインを作成する半分以上に達しているが、紙媒体や印刷品では普及しづらいことから、デジタルなマイ・タイムラインの普及に働きかけ、率を更に引き上げるよう施策を整え、作成率の向上を図る。
4	水防・雨量観測システム閲覧件数【2019年度から累計】	10,000件	8,400件	31,822件	378.9%	水防・雨量観測システムの周知が進み、大雨等の河川水位の上昇が見込まれる際にアクセスが増え、閲覧の機会が増えることが期待されており、引き続き水防・雨量観測システムの周知を図り閲覧者の向上に努める。
5	防災訓練を有する病院（高齢者・障害者入所施設、入院設備を有する病院）における避難訓練計画の作成率	100.0%	100.0%	88.6%	88.6%	避難訓練となる施設の種類や施設従事者の体制等の事情により、一階施設においては計画の策定が困難となっているが、避難訓練計画を作成することは、配慮者の安全確保等を守る行動を必須とするために効果的であることから、施設従事者の育成やスタッフの育成を図る。
6	消防団員充足率	100%	100%	97.8%	97.8%	加入促進に向け、引き続きホームページや自主運行のイベントなどで引き続き働きかけるとともに、市内や近隣市などで実施されるイベントに積極的に参加し、消防団活動の紹介やチラシを配布する。また、退団する団員には帰郷別消防団員として引き続き消防団に関わりをもてるよう継続する。
7	県用河川整備員【1979年度から累計】	46,915名	46,706名	46,606名	99.7%	県本署や上級災害を軽減する治水対策や河川整備を進め、市民の安全を確保するために河川の事業定着が重要となることから、事業費の拡大（補助金の拡大）を強く要望していく。
8	感染症による二重感染以上感染症のクラスター発生件数	0件	0件	0件	100.0%	感染症の流行等に注意し、感染症の予防となるウイルス等について正しい知識や、感染予防に関する対策などの情報を提供し、自ら健康や安全を守るための行動を取る意識を醸成している。

自分の業務から考えるまちづくり

グランドフィナーレ「フジイロフェス」を開催

昨年は市制施行70周年・サッカーのまち100周年と大きな節目となり、1年を通して多くの記念イベントなどが開催されました。12月14日には、その最後を飾るグランドフィナーレ「フジイロフェス」を藤枝総合運動公園サッカー場で開催しました。特設ステージでの藤枝太鼓などの上演やラジオ番組の公開収録のほか、子どもたちを対象とした運動遊びやマルシェなど、さまざまなイベントが催されました。また、藤枝MYFCと藤枝東高校のスペシャルチームと、人気YouTuber

オールスターズが対戦したサッカーの試合では、客席から声援が飛び交い、会場は大いに盛り上がりました。



サッカーリレーの動画はこちら

「フジイロフェス」の最後には、昨年1月から始まった市民の皆さんが夢や希望を託してパスをつないだサッカーリレーのスペシャルゲストとして、本市出身で元サッカー日本代表の中山雅史さんと名波浩さんが登場。中山さんと名波さんから次代を担う子どもの代表として、櫻井晴仁さん（青島小6年）と植田あかりさん（藤枝中央小5年）にパスをつなぎました。パスを受けた2人は「夢や希望を乗せたボールに詰まった皆さんの思いを大切に、明るい未来につないでいきます」と力強く誓いました。

自分の業務から考えるまちづくり



自分の業務から考えるまちづくり

令和3年版

環境白書

循環型社会白書／生物多様性白書



2050年カーボンニュートラルに向けた
経済社会のリデザイン(再設計)

2020/21

令和4年版

環境白書

循環型社会白書／生物多様性白書



グリーン社会の実現に向けて変える私たちの地域とライフスタイル
～私たちの変革から起こす脱炭素ドミノ～

2021/22

令和5年版

環境白書

循環型社会白書／生物多様性白書



ネットゼロ、循環経済、ネイチャーポジティブ経済の統合的な実現に向けて
～環境・経済・社会の統合的向上～

2022/23

将来戦略

未来を創るのは皆さんです。



